

☆謎解きイベント☆ 挑戦者求む!!!

図書室で謎解きイベントを開催します!!!!



ポプラ社が『総合百科事典ポプラディア第三版』の10年振り大改訂を記念して素敵な企画を用意してくださいました。そのひとつ!謎解きイベントを本校の図書室でも開催!ヨシタケシンスケさんのかわいいイラスト「ひゃっか王」がみんなに挑む謎とは!?

★開催期間:11/11(木)~11/24(水) 昼休みか放課後

(所要時間は30分~1時間程度)

謎解きは2種類!「①図書館にかくされた宝物をさがせ!編」が解けた方に、「②まちがいだらけのひゃっかじてん!?編」の謎をお渡しします!その日に解き終わらなかった場合は別日に解くことができます。すべて解けた方には記念のしおりをプレゼント!

1人での参加も可能!お友達と協力しながら解いても可!ぜひ参加してみてください。

☆雑誌の付録プレゼント<抽選>☆

図書室で購読している雑誌の付録を抽選でプレゼント!抽選応募券は本を1冊借りるごとに1枚お渡しします(延長貸出は除きます)。希望の品に○をつけて、図書室にある応募BOXに入れてください。

抽選応募券配付期間:11/1(月)~11/30(火) 詳しくは図書室まで!



☆図書委員会広報班による記事☆



皆さんは、夏休み前に配られた出版社の小冊子を覚えていますか?今回、私が実際にその中から本を選んで読んでみたものがすごく大部分の人に共感をよんでもらえる内容だと感じたので、その本をご紹介します!

『午前0時の忘れもの』赤川次郎:著/集英社

愛していれば、奇跡もきっと起こる……。1ヶ月前に発生した、湖へのバスの転落事故。この事件で、何人もの人が犠牲となってしまふ。その上、バスは湖の奥深くまで沈んでしまったため犠牲となった人々は今日に至るまで誰一人として発見されてないという。1ヶ月ほど経ったある日、複数の人のもとに死者たちから同様のメッセージが届く。内容は、「今日の午前0時に“ある場所”へ来て」といった内容だった。死者たちがメッセージを送った理由は何であったのか、死者たちはどうして複数の人たちにメッセージを送ったのか?深夜のバス・ターミナルで繰り広げられる、死者と生者の不思議な出会いを描いた一冊。この本を読んだきっかけは本当に些細なもので、表紙を見て綺麗なものを選んだだけだったのですが、2~3日で読み切ってしまうほどストーリー性があるって没頭できるお話でした!この本の最大のテーマとして死者に会いに行く、というのがあります。皆さんも、亡くなってしまった人に会いたいと思ったことはありませんか?私はあります(笑)現実ではありえないことですが、実際に会うことができたならこのお話のような感じなのかな、と想像するのも読み方の一つだと思います。人それぞれで結末の解釈などお話のその先を考えてみるのも面白いと思うのでぜひ読んでみてください!

3A K



みなさんこんにちは!今回は読書好きの人におすすめのながーいお話を紹介します。

『夢違』恩田陸:著/KADOKAWA

恩田陸の『夢違』という本です。この話では、夢を夢札として記録できるようになった世界で夢札を解析する職業に就く浩章が主人公です。主人公は、水面下で多発している集団パニックの子供たちの夢札を解析する依頼を受け子供達の夢を見ていき、夢に関する大きなものに近づいていきます。この本はハードカバー500ページの大ボリュームの本になっていて、その洗練された世界観にたっぷり浸ることができます。そして突然の急展開にワクワクしますが、明確に真相が語られることはなく自分自身で私たちの想像を遥かに超える真相について考察することができます。それまでの展開で高められていた緊張が、抽象的な結末で閉じられる喪失感、このボリュームの本を読み終わった達成感も合わさって唯一無二です。ぜひお友達にも紹介して、お互いの解釈を語り合うととても楽しいと思います。

3D H



『魔女のルールと風の少女』村山早紀:著/ポプラ社

どんなに重いけがや病気でも治すことのできる魔女の子ルルーと、様々な患者さんの人間模様を描いた「風の丘のルール」シリーズの4巻。しゃべるクマのぬいぐるみと丘の上の一軒家で暮らすルルーは、偶然訪れた山間の街で盲目の少年の治療を試み、その子をめぐり騒動に巻き込まれます。「風の丘のルール」シリーズは表紙が童話風なので可愛い児童書かと思われがちですが、毎回病人やけが人や死人が登場してくるので、けっこうシビアで苦いエピソードも多く、その分大人にも刺さります。何巻からでもいいので、ぜひ手に取ってみてください。切なく美しい物語に癒やされること間違いなしです。